

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	高志野ベース レフト			
○保護者評価実施期間	2026年1月10日 ~ 2026年1月18日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数)	17人
○従業者評価実施期間	2026年1月10日 ~ 2026年1月18日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの活動等のスペースが広く確保されている。 ・フロアの仕切りがないため、広い空間で身体を動かすことができる。	・机などで仕切りをつくり、活動を分けている。	・粗大運動を利用した療育に努めていく。
2	・児童発達支援管理責任者だけでなく、スタッフが共通理解の下で子どもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	・スタッフ会議を通して子どもの様子や今後の支援の仕方、方向性について検討している。	・形骸化させずに意思決定やアイデア創出につなげるため、事前準備を徹底的に行う。
3	・保護者への伝達事項や苦情対応、相談事などへの体制を整えている。	・日頃の活動はオンラインシステムを活用し、定期的に写真などで伝えている。 ・事業所での療育方法を伝え、ご家庭での困りごとに等にアドバイスしている。	・保護者様が相談しやすい雰囲気づくりをスタッフ全員で行うとともに、会話を通じて信頼関係の形成にも努める。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・静かな活動が取り組みにくい。	・活動空間が広いため、動と静が一体となることが多く、落ち着いて活動したい子に対し、やや取り組みにくく感じられる。	・動と静の時間区分を設け、活動にメリハリをつける。
2	・トイレが1つしかない。	・トイレが1か所のみであるため、並んで待つ状況が発生する。	・混雑回避のため時間やルールを調整し、入る時間や順番をずらして対応していく。
3	・玩具が少ない。 ・テレビがない。	・ボールやトランポリンなどの粗大運動用の器具は充実しているが、ブロックやパズルなどの落ち着いて行う玩具、DVD視聴のためのテレビ機材が無い。	・静の時間に取り組める玩具を増やす。 ・テレビは置く場所の確保が難しいので再検討する。